

市政記者各位

福岡市議会事務局

福岡市議会
初!

福岡市議会

議場コンサートを開催します♪

～九州交響楽団メンバーによる弦楽五重奏～



福岡市議会では、多くの市民の皆さまに議場に来ていただき、議会を身近に感じていただくため、本会議の前に、九州交響楽団メンバーによる議場コンサートを開催いたします。当日は、市長による新年度市政運営方針及び議案説明が行われる予定です。（10時～11時頃）

議場コンサートは、本市議会初めての取り組みです。参加者募集の告知についてご協力をお願いいたします。

- 日時 令和6年2月26日（月）9：30～9：50（開場9：00～）
- 会場 福岡市役所 議会棟15階 議場（傍聴席）
（福岡市中央区天神1-8-1）
- 定員 136名（要事前申込・先着順）
- 参加費 無料
- 内容 **九州交響楽団による弦楽五重奏**
・演奏曲目
モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章
エルガー：愛の挨拶
クライスラー：愛の喜び
コンサート終了後は引き続き議会を傍聴いただきます。
（※市長による新年度市政運営方針及び議案説明が行われる予定です。）
- 応募方法
・市ホームページの申込フォームによる申し込み
・電話、ファクスによる申し込み
議場コンサートの申し込みであること、全員の住所・氏名（ふりがな）、代表者の電話番号をお知らせください。
※申し込みが定員に達し次第、受け付けを締め切ります。
- その他
・詳細は別紙チラシをご覧ください。
・午前10時から本会議を開きます。



申込フォーム

<本件に関するお問い合わせ先>

○福岡市議会事務局調査法制課 坂崎
電話番号 092-711-4749 （内 7520）

九州交響楽団メンバーによる弦楽五重奏

議場コンサート

多くの市民の皆さまに議場に来ていただき、議会を身近に感じてもらうため、福岡市議会議場にて九州交響楽団メンバーによる弦楽五重奏コンサートを開催します。コンサート終了後は引き続き議会を傍聴ください♪

令和6年

2月26日(月)

9:00～受付

参加無料

定員136人(要事前申込・先着順)

議場コンサート 9:30～9:50

モーツァルト:「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章

エルガー:愛の挨拶

クライスラー:愛の喜び

本会議 10:00～11:00頃

※市長による新年度の市政運営方針の説明(予定)

※コンサート中の途中入場はできません。

※携帯電話・スマートフォンの電源はお切りください。

会場

福岡市役所 議会棟15階 議場(傍聴席)
福岡市中央区天神一丁目8番1号



ヴァイオリン
扇谷 泰朋

ソロ・コンサートマスター



ヴァイオリン
山下 大樹

第2ヴァイオリン首席奏者



ヴィオラ
細川 泉

ヴィオラ首席奏者



チェロ
山本 直輝

チェロ首席奏者



コントラバス
皆川 直輝

申込方法

ホームページ、電話、FAXのいずれかでお申し込みください。

(FAXの際は、「議場コンサート」と記入し、氏名・かな・住所・電話番号を記入ください。)

※定員に達し次第、締め切ります。

ホームページは
こちらから



申し込み・問合せ先

福岡市議会事務局調査法制課

TEL 092-711-4749

FAX 092-733-5869



演奏者紹介



扇谷泰朋(ヴァイオリン、九州交響楽団ソロ・コンサートマスター)

桐朋女子高等学校音楽科(共学)、桐朋学園大学音楽科を経て1998年よりベルギー王立音楽院に留学し2000年修了。桐朋学園大学在学中に第62回日本音楽コンクールに入選。ロイヤルチェンバーオーケストラにてコンサートマスターとして活動し、また同オーケストラとソリストとしても協演。留学中にベルギー王立音楽院室内オーケストラを結成し2000年ドイツ、2002年日本におけるコンサートツアーをコンサートマスターとして成功に導く。室内楽の分野ではクリスタル・クアルテットを結成、ヴィオラ奏者として2001年スペインにおける国際コンクール”Paper de Musica”で優勝し、ベルギー、スペインなどで演奏活動を展開。2002年に帰国し、2004年7月より九州交響楽団コンサートマスターに就任。2006年4月より日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・コンサートマスターに就任し、現在、両楽団のソロ・コンサートマスターを務めている。



山下大樹(ヴァイオリン、九州交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者)

福岡市出身。全日本学生音楽コンクール北九州大会中学校の部3年連続上位入賞。全国大会入賞。2008年～2011年アクロス福岡ヴァイオリンセミナー受講。「楽興の時」若き音楽家のための室内楽セミナーにて優秀演奏者受賞。Euro Music Academyにて名誉ディプロマ受賞。フィデリオコンクール(ウィーン)にて入賞(順位なし)オーストリア放送局より演奏が放送された。桐朋女子高等学校音楽科卒業後、旧ウィーンコンセルヴァトリウム私立音楽大学にて研鑽を積む。ソロ活動の他、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、トーンキュンストラ管弦楽団(ウィーン)の首席奏者ならびにメンバーと共演。2020年6月より九州交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者。



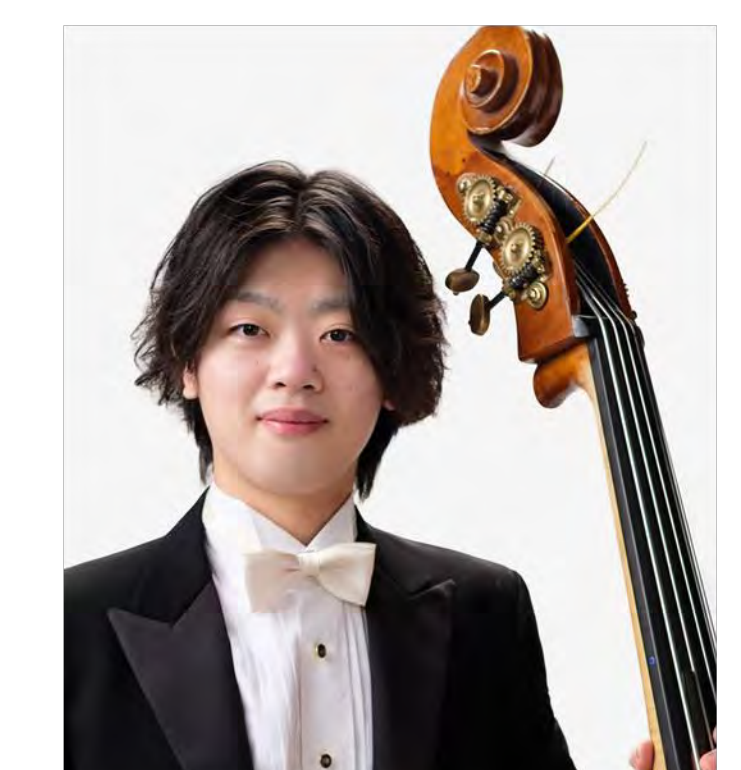
細川泉(ヴィオラ、九州交響楽団ヴィオラ首席奏者)

京都市立芸術大学院在学中にヴィオラに転向し、同大学院を修了。ジュネーヴ高等音楽院において、ヴィオラを今井信子氏の元で研鑽を積み、修了。スイスのヴェルビエ音楽祭にてVerbier Festival Orchestraで演奏。シャルル・デュトワ、ヴァレリー・ゲルギエフ、ズービン・メーターなどの現代を代表する指揮者の元でオーケストラの研鑽を積む。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。ヴィオラのソロ楽器としての魅力を広めるため、リサイタルシリーズを定期的に行っている。2018年1月より九州交響楽団首席ヴィオラ奏者。長岡京室内アンサンブルメンバー。2022年より京都市立芸術大学非常勤講師として、後進の指導にあたる。



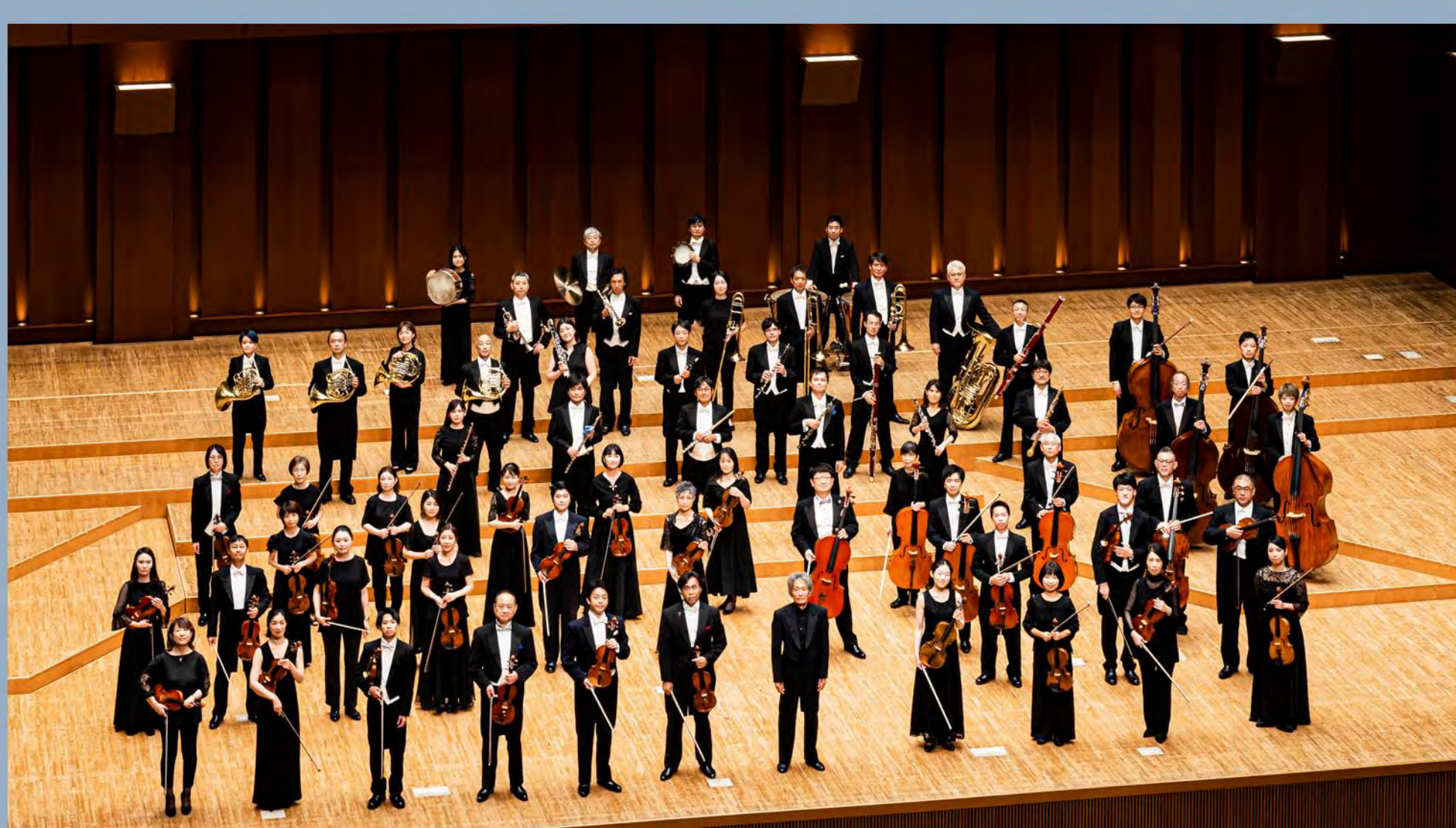
山本直輝(チェロ、九州交響楽団チェロ首席奏者)

東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。第65回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部第2位。第11回ビバホールチェロコンクール第4位。大学内において安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。ARC TRI0のメンバーとして、2016年度青山音楽賞(バロックザール賞)を受賞。2018年そよ風ホール(久留米)の九州交響楽団演奏会にソリストとして出演。「福岡音楽の秋フェスティバル2023」ほかで安永徹・市野あゆみらと共演を重ねる。2018年1月に九州交響楽団首席チェロ奏者に就任。



皆川直輝(コントラバス、九州交響楽団コントラバス奏者)

福岡県出身。都築学園福岡第一高校音楽科、東京藝術大学を卒業。オーディションやコンクールに入賞し、ソリストとして九州交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、大阪交響楽団と共演。小澤征爾音楽塾、北九州音楽祭に参加するなど活動の場を広げるほか、大学時代よりプロオーケストラに客演。これまでに、吉浦勝喜、時津りか、幣隆太郎、西山真二、池松宏、吉田秀、石川滋の各氏に師事。2021年2月より九州交響楽団コントラバス奏者。



九州交響楽団

1953年創立。九州の音楽界をリードするプロオーケストラとして、アクロス福岡での定期演奏会をはじめとする主催公演の他、オペラやバレエ、ファミリーコンサートなど年間約150回の演奏活動を行っている。2013年から音楽監督を務める小泉和裕は、2024年4月に終身名誉音楽監督に。同月、首席指揮者に太田弦、ミュージック・アドバイザーに篠崎史紀を迎える。これまでに福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。2024年3月にサントリーホール(東京)など全国4ヶ所で創立70年記念公演を開催予定。